

# 令和元年度 第1回 南丹市放課後児童健全育成事業運営委員会 議事録

令和元年7月11日（木）

午後2時30分～4時00分

南丹市役所日吉支所 第1会議室

## 出席

富田委員長、吉田副委員長、小南副委員長、上段委員、川勝委員、船越委員（阜委員代理）、伊丹委員、日下部委員、谷口委員、〈事務局〉木村教育長、社会教育課 寺田課長、木上係長、西村主任、梶原主事、加茂社会教育主事、坂本社会教育主事、矢野主事、大平支援員

## 欠席

鈴木委員、堀委員、村田委員

\*傍聴者0人

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

## 3 教育長あいさつ

今日は第一回の運営委員会を開催いたします。ご出席いただきありがとうございます。

先ほど委嘱状を代表の富田さんにお渡しさせていただきましたが、各委員のみなさまにおかれましては、一年間ではございますがどうぞよろしく願いいたします。

南丹市教育委員会では、今年の4月に教育振興基本計画を、本市の学校教育、社会教育を両輪とする内容を持って新たに作り直しました。その中で地域と学校と連携を取りながら、また地域のみなさまに学校も支えていただきながら、放課後児童クラブの部分でもそれぞれの委員さんのご意見も賜りながら運営をしてみたいと考えております。厚生労働省の放課後児童クラブ運営指針及び南丹市放課後児童健全育成事業の条例に基づきまして運営をしていこうと考えております。

後ほど事務局が説明させていただきますが、いろいろなご意見を賜りたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

さて、南丹市教育委員会では、先日地域の方々に子どもの安全・安心についてのお願い

をさせていただきました。なんたんテレビ等の広報につきまして地域全体で子どもを守っていただきたいということでお願いをさせていただきました。なんたんテレビでは八木西小学校の民生児童委員さんの取り組みを紹介していただきましたが、それぞれの地域でそれぞれの方々が子どもの見守りをしてくださっております。昨今いつどこで誰が被害者になるかわかりません。そのような中で、地域をあげて子どもたちを見守っていただくというようお願いをしているところでございます。今後皆様方におかれましても地域で子どもの見守りをよろしくお願いを申し上げます。今日はいろいろな意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いをいたします。

#### 4 委員長・副委員長選出、運営委員紹介

選出方法 互選

- ・ 委員長 富田陽子 委員
- ・ 副委員長 吉田尋子 委員、 小南久仁子 委員

#### 5 協議内容

##### ◆放課後児童クラブとは

- ・ 資料の通り

##### ◆放課後児童クラブの生活

- ・ 資料の通り

##### ◆放課後児童支援員の役割

- ・ 支援員は、子どもの人権を尊重し、学校や保護者との連携を図り、日々の健康管理、安全確保、集団活動を通して社会性を養うことに留意。
- ・ 個人情報の取り扱い、プライバシーに関する守秘義務に留意。
- ・ 府主催の支援員認定資格研修について、平成32年3月までに支援員が受講する計画で南丹市からも受講している。平成30年10月末時点で36名が受講を終えており、現在1名が受講中。

##### ◆令和元年度南丹市放課後児童クラブ開設状況

- ・ 事業概要 資料通り
- ・ 対象児童 資料通り (対象児童を小学校全学年に拡大)
- ・ 開設場所 実際の利用者数が定員をオーバーしている児童クラブがあるが、面積数や支援員数を考慮し、待機児童を出さないよう配慮している。
- ・ 開設日数 平成22年度から土曜日の開設を行っており、園部地区では、たんぼぼ、こすもすの預かりを合同で実施。日によって異なるが、10人程度の出席がある。八木、

日吉、美山でも同様に、保護者の就労に合わせて、毎週ではないが合同で開設している。子どもたちは平日に加え、土曜日でも家庭で過ごす時間が減っている状況。開設日数は290日、うち土曜日が49日である。

- ・開設日及び時間 通常時は下校時から午後6時30分まで、長期休業時は午前7時45分から午後6時30分まで開設している。そのうち、午前7時45分から8時30分までの間は早朝預かりを登録された方のみ利用可能である。警報発表時等には、児童クラブが臨時休みになる。緊急措置基準について保護者に資料を配布し、入部前や夏休み前の説明会など、機会あるごとに案内している。警報発表時には社会教育課や支援員から保護者に連絡。保護者アンケートでは、警報発表時の開設希望の声があったが、現時点では警報が出ているような悪天候の中、施設の安全面も確保しながら、支援員が出勤し、児童を受け入れることは難しいと考えている。
- ・入部児童数 利用者数は、児童クラブごとにひと月のうち、最も利用者が多かった日の利用者数を記載している。
- ・支援員体制 クラブによって異なるが、大人数の場では概ねひとりの支援員が10人前後の子どもを常にみている状態。支援員の雇用は、半年ごとに臨時職員の契約を結ぶ。子どもたちの授業が終わる時間に合わせて出勤する。支援員と学校との定期的な連携会議を年2回行い、子どもに心配な面が顕著に見られる場合等は学校での対応について話を聞かせていただくこともある。発達支援センターとも連携している。また、虐待ケース等には、子育て支援課と連携し、毎月のケース会議にも出席している。平成30年度から代表支援員の位置付けを見直し、定期的な代表支援員会議を行い、各クラブでも代表支援員を中心としたチームワークで動くように取り組みを進めている。
- ・支援員研修 年度当初や夏休みを迎えるタイミングで、新規採用の支援員に向けた研修を行っている。支援員全員を対象とした全体研修は、人権研修への参加を含めて年4回の開催を予定。代表者会議は、代表支援員の情報交換の場として、広く充実した話し合いを行っている。
- ・保護者負担金 F階層が約50%、A・B・C・D・Eがそれぞれ10%前後となっている。以前から要望の多かった口座振替については今年度より実施。あわせて、保護者負担金の算定月についても今年度より変更している。

#### ◆その他

(委員) 開設しない日のお盆期間の4日間は休みを確保しにくいいため、開設していただけたらありがたいと思っています。支援員も働き方改革など言われている中なので、普段頑張っている支援員には酷なお願いですが、もう少し助けていただけないかと思っています。

(事務局) 今以上、幅広い時間というようなご意見もあるかと思っています。そういったご要望も今後検討すべきではありますが、国等の要綱などを踏まえながら検討していこうと

思います。

(委員) 来年度の開設はどのようなものか伺います。

(事務局) 資料の通りとなっております。入部受付等の日程などは今年度同様に進めていく予定です。

## 質問事項、意見

(委員) 園部第二小学校は校舎内で行っています。子どもの人数が増え、3階建のスペースの中の2階の和室も使っていただいています。また、体育館や多目的スペースも利用していただいている、日常的な連携が取りやすい部分があると思っています。担任の先生と密に連絡も取れています。子どもたちも同じ学校というくくりでは環境は同じではあるけれど、気持ちは変わっている部分があると思うので、上手く対応していただいています。6年生までを受け入れることになり、保護者の方々も働いておられますし、かつ不審者など登下校に対する不安もあり、今後ますますいろいろな要望が出てくるとは思いますが、勤務体制等も配慮していただきながらやってほしいと思います。

(委員) 八木せきれい西は小学校から少し離れたところにあります。特に年度当初の4月、新入学児童は、保護者の方も大変不安や心配があったと思われまます。きめ細かく、お迎え対応などしていただいて良いスタートがきれました。実際細かい活動の内容ではありますが、お迎えに来られましたときに職員とも日常的に話をするを心がけています。付け加えまして、児童クラブの通信を学校にも配っていただいております、活動の中身もわかるようになりました。また、これから夏季休業で時間帯も日常と違ってきますが、連携をしっかりと取りながら充実したものにできたらと思っています。

(委員) 胡麻どんぐりの支援員の先生方にお世話になりながら、楽しく過ごせたらと思っています。昨年の秋から旧こども館の解体工事が始まりまして、子どもたちが外で遊べる広場の工事が続いておりましたが、子どもたちは広場ができるのを心待ちにしている様子でした。その間、子どもたちの遊び場や駐車場の確保を学校と連携して進めてきました。この春にやっと大きないちょうの並木を生かした素敵な遊び場が完成しました。昨日もお迎えに行きましたら、保護者の迎えを待っている間、ドッジボールなどで楽しく遊んでおりました。まだ少し工事が残っている部分があると支援員さんがおっしゃっていましたが、子どもたちの遊ぶ場所が安全な場所であることの配慮をお願いしたいです。夏休みは特に学校のプールを使っの活動もありますので、元気に過ごしていただきたいです。

(支援員) 殿田放課後児童クラブでは、子どもの人数は少ないですが、保護者や学校の先生方と連携を取って毎日過ごしています。毎日色々な大変なことがあり、楽しいことや、考えることもあります。子どもたちが元気に過ごしてくれることが一番と考えています。ありがとうございます。

(委員) 子育て支援法が改正されて、利用されている6年生の人数はどこが一番多いのか、

高学年がいることでの現場でのご苦労があるのか、良い面があるのかお聞かせいただきたいです。

(事務局) 児童クラブごとに6年生の利用人数についてお話させていただきます。登録児童数でたんぼぼ11名、こすもす4名、せきれい東0名、せきれい西2名、どんぐり0名、ひまわり1名、やまぼと4名ですが、高学年になると、子どもたち自身も家にいる方がいいとおっしゃる方もおられます。平日は学校の終わる時間が15時頃ということで学期中は家で過ごされ、夏休みだけ利用される方もあります。今申し上げた人数は、夏休みだけ利用される方と学期中も利用される方を含めた人数です。実際今これだけの6年生が放課後児童クラブを必要とされているということで、今までは支援員もこれまで3年生までの対応でしたので、6年生までとなり戸惑いながらではありますが対応しています。一方で、6年生との付き合いの中で支援員の学びや、他学年との交流もあり、学校にはないコミュニケーションの機会にもなっていると考えております。

(委員) 個人的な意見としましては、現在1年生と4年生の子どもを見ていただいている1年生は放課後児童クラブで宿題をさせていただいているのですが、家に帰って宿題をする癖がついていてありがたいと思っております。4年生は平均して週1回くらいの利用になりました。夏休みや冬休みなど長期の休みに特にお世話になりたいと考えています。今回このような会議に出席することになり、放課後児童クラブを利用している保護者に何か言うことはないかと聞いてみました。まず1点目は、迎えが最終時間の18時30分に間に合わないことがある、それを当たり前のように受けていただいている逆にはどうかと思うので、もう少し厳格にしてもらってもいいのではないかと、という意見がありました。

もう一点、たんぼぼは旧摩気小学校を使われているのですが駐車場が少ないということがあり、お迎えが集中する時間帯に来た保護者同士が話していて駐車場がいっぱいになるということがありました。道路に駐車する人もあるようです。注意はしていただいているとは思いますが、トラブルが起こったこともあるようなので改善していただきたいです。

(事務局) お迎えの件ですが、18時30分までということですがやむを得ない場合は、以後は気を付けていただくようお願いしながら対応しています。しっかり守っていただいている方もおられますので、児童クラブによって差異がありますが、これを機会に支援員と意思統一して公平な対応ができるようにしていきたいと思っております。

たんぼぼの駐車場の件ですが、校舎側が便利ではありますが、もう一つプール側にも駐車場がありますので少し遠いですがこちらも使っていただきたいと思っております。また、子どもを引き渡した後は保護者が交流する場でもあるのですが、他の方に迷惑をかけているということなので、張り紙等で対応するなど、保護者の方が納得して使っていただけるように工夫していこうと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

(委員) 放課後児童クラブには思い入れがあります。子どもの人数も増え、場所も変わり、

ずいぶん変わったなあと思いながら利用させていただいています。旧摩気小は距離もあり、送迎の手間は感じますが、環境が良く、広くて体育館もグラウンドもあり、高学年と低学年と分けていただいています。一人当たりのスペースが広くゆとりがあります。多い人数の中で支援員も大変だと思います。駐車場も狭いですが私が行く頃は空いています。保育所と二重送迎している保護者もいるので、お迎えも18時30分だと厳しいため19時まで預かっていただけたらという意見もありました。同じ支援員の方がずっと関わってくださっていることは安心感もあります。また、口座振替になったことはすごくありがたいです。そして、お盆期間に休みを取ることが難しい保護者もあるのでできれば開設していただきたいです。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。一つは旧摩気小学校の現状を踏まえて、文部科学省等が推奨しております学校の敷地内に拠点をつくることで、そこで学校と地域と家庭と行政とで子どもを見守っていくという理念の中でやっていきたいと思っています。送迎の件については、公平にやっていかなければならないと考えております。200人規模が想定されるので、本来ですと家庭の中で見ていただいて育ていくことが良いと思いますが、昨今の社会事情を踏まえしっかり対応できるようにしていきたいです。口座振替の関係は、3年間かけてやっとご要望にお応えできました。放課後児童クラブを運営していくにあたって支援員は、南丹市の臨時職員として、できるだけチームワークでしていただけるよう風通しよく、組織立って業務をできるようにしています。今後の課題は支援員の確保であると思っています。

(委員) 保護者負担金が月額制で毎日利用している方にはよいが、数回の利用の方もおられるので料金の段階があれば嬉しいです。

(事務局) いろいろな保護者の方々の就労支援ということで、一人一人の実情に合わせていくのは難しいです。今の負担金の体制が最善であるのか担当者で日々話し合っています。貴重なご意見を基に検討し、利用しやすい児童クラブにしていけたらと思っています。

(委員) 年々児童クラブに関わる人が広がっています。いつも児童クラブの元気な声を聞いていて、上手く運営されていると感じています。また、家庭でこれだけのことをしてあげられないくらい良くしてもらっています。ですが、これで満足してはいけなないので、子どもを中心にバランスの良い形を、これからも意見を聞かせて頂き、引き続きこの会議をベースに声を上げていけたらと思っています。

(委員) 昨年、全ての児童クラブを訪問し、夏休みの状況を伺いました。様々な環境の中でそれぞれ工夫しながら運営されていると感じました。その反面、このようなスペースでやっていけるのか、と思う部分もありました。定員に関わらず、増える可能性もあるということなので、しっかり見極めて見通しをもって計画を立てていかなければいけないと思っています。子ども同士の関わりの中で育ていく力も感じています。支援員さんは学校の先生以上の指導力がいるのではないかと感じるくらい支援員さんのご苦勞

がわかりました。そして、夏休みの支援員の状況をお聞かせいただきたいです。また、保護者アンケートなどを行っても良いと思います。

(事務局) 夏休み臨時支援員の件ですが、たくさんの応募をいただきました。全部で27名の応募がありました。そのうち社会人の方が8名、残りの19名が学生。19名のうちの10名が明治国際医療大学の学生で、大学連携としてお世話になります。

(委員) 吹奏楽とレクリエーションで放課後児童クラブと関わって15年経ちましたが、子どもの人数がその頃から約3倍になりました。現状から将来を見据えた話を今後もできたらと思います。また、子どもたちの安全・安心を踏まえた将来を見据えた話し合いができたらと思っています。

(事務局) 次回の会議は11月の予定をしております。ご出席をよろしくお願いいたします。

## 6 殿田ひまわり放課後児童クラブ見学

(閉会挨拶後)

## 7 社会教育課長閉会あいさつ

本日は、貴重なご意見ありがとうございました。この貴重なご意見を、今後の放課後児童健全育成に生かしていきたいと思います。国等の動きの中で量と質の拡大が大きなテーマとなっていますので、支援員とともに連携をはかりながら進めてきたところです。今後も家庭に代わる子どもの居場所として、また地域と学校との連携をはかりながら、引き続きまして安全・安心の確保に努めて参りますので、この会だけではなく、様々な機会を通してご意見を聞かせていただけたらと思っております。本日はありがとうございました。

以上